

# 縄南中通信



平成29年12月 4日 発行

2017年度 第8号

**「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」**

東大阪市立縄手南中学校

校長 日比野 功

縄手南(小中一貫)施設分離型義務教育学校(平成31年度開校予定)教育理念

## **「縄南道」による二十歳の成人式に**

### **当たり前の行動を当たり前に行うことができる人の育成**

**「百聞は一見に如かず」の如く、勝因を生む「空気」を創造せよ！**

「百聞は一見に如かず」という言葉があります。これは百回聞くよりも、たった一度でも自分の目で見た方が確かだという意味です。「あそこの景色はとても綺麗」「どこそこの何々はとても美味しい」という話を何回も聞くよりも、実際にその場所に行ってみたり、そこの食べ物を食べてみたりして、自分で確かめることの方が確かだということです。また、「あのチームの練習は凄い」とか、「あのグラウンドは素晴らしい」ということも、聞くよりも実際に行ってみれば、何が凄いのか、何が素晴らしいのかがよくわかります。では、何が凄いのでしょうか？何が素晴らしいのでしょうか？またなぜ、凄いと感じるのでしょうか？なぜ素晴らしいと感じるのでしょうか？当然、チームの練習メニューもレベルが高いでしょうし、そのチームの個々の選手の能力も高いでしょう。また、グラウンドの設備が整えられて、立派な施設が建てられているのかも知れません。しかしながら、それだけで「凄い」「素晴らしい」と本当に感じるのでしょうか。それだけで「凄い」「素晴らしい」と感じるのであれば、それは違います。そのメニューで練習している選手の取り組み姿勢、与えられたグラウンドや設備を使用している選手やチームの気持ちや姿勢が、「凄い」「素晴らしい」と感じさせる「空気」を創造していることに気付かなければなりません。また、このような「空気」を感じるためには、自分自身も「空気」を創造する鍛錬を行ってなければ感じることはできません。そうでなければ何が凄いのか、何が素晴らしいのかさえわかりません。せっかく素晴らしい「空気」を感じることでできる場所や環境に触れても、見た目だけの上っ面な物にしか興味を示さず、大切なものを見逃してしまうこととなります。

「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」という「勝因」にこだわっている集団が持つ「空気」と、「いい加減」「適当」「だいたい」にしかできない「敗因」が充満している集団が持つ「空気」は当然の如く明らかに違います。「百聞は一見に如かず」という言葉が持つ意味の通り、自分自身の感性で感じた事柄は非常に大切な体験であり経験です。「感性」を磨くという鍛錬を「縄南道」で創造し、人が育つ「空気」、人を育てることのできる「空気」を持った縄手南でありましょう。

**11月21日(火)の小中一貫教育推進研究発表会では・・・**

11月21日(火)、縄手南中学校区では小中一貫推進の研究発表を行いました。平成31年度から始まる東大阪市の教育施策である小中一貫教育に向けての取り組みについて、縄手南中学校区の取り組みを公開発表したものです。この日は、6年生が朝から中学校登校を行っていて、弁当を持参していましたので小学生の保護者の皆様にはお手数をおかけいたしました。公開授業では8年生と6年生の交流学習「食育」・「体育」、また、9年生がこども園5歳児を対象とした「保育」の

授業、8年生の「英語」の授業、また、午後から教室を中学校に移した3年生の授業である「外国語活動」を中心に、その他も6年生、8年生、9年生の通常授業を公開しました。授業後の研究発表のオープニングでは、中学校吹奏楽部と小学校音楽クラブのコラボによる演奏&合唱を披露しました。これは9月17日(日)に開催予定であった地域敬老大会での発表に向けて夏休みから練習を



中学校吹奏楽部と小学校音楽クラブのコラボ演奏&合唱(左)、9年生によるこども園5歳児との家庭科保育実習の様子(右)

続けていたものですが、当日は台風のため中止となったこともあり、今回発表の機会を頂いたものです。公開授業の内容は日頃から縄手南校区が取り組んでいることなので、当日の進行はスムーズに行われました。また、公開授業のない7年生の有志36人が来校者への案内、誘導、気持ちのよいあいさつとともにスタッフとして活躍してくれました。他校から来られた先生方の中には、公開授業の内容もさることながら、7年生スタッフの動きに対してお褒めをいただく場面も数多くありました。「縄南道」に学ぶ一員として、スタッフとしてこのような仕事ができることは大切なことだと考えています。今後も縄手南校区全体で「縄南道」を推進していきましょう。

### 近藤克次太鼓組の皆さんの演奏を通して「縄南道」へのメッセージ

11月28日(火)に近藤克次太鼓組の皆さんの演奏を聞かせて頂きました。近藤克次太鼓組の皆さんは、近藤克次さんが世界に広められた「鼓動」に憧れ、近藤克次さんを師と仰いで集まったメンバーです。プロとして和太鼓を演奏する上で、つきつめればつきつめるほど魅力ある音に出会うことができることや、少々時間がかかっても粘り強く続けることが大切であることなど、そして何より、和太鼓を演奏する前に礼儀や礼節、感謝の気持ちが基本となることなどを伝えていただきました。メンバーの皆さまはそれぞれ個々に太鼓指導等をされているそうですが、演奏練習の前には体操をしたりするそうです。その際にも練習前の体操さえ揃わないのであれば太鼓演奏も揃うはずはないと、体操を揃えることにもこだわっているとお聞きしました。前日に縄手南中学校に入られ、本番当日の午前中や本番での縄手南中の生徒諸君の行動にいろいろと思いをめぐらされ、感心していただいていたそうです。日頃の「当たり前」が評価された場面であったのでお知らせします。



### クラブ等の主な記録

#### 第51回東大阪市立中学校・高等学校生活意見体験発表大会 学校代表

木田華夢(7年) 題名「命について」

#### 第51回英語まつり 学校代表(全8年)

後田壮太 木塚優太 佐々木結人 飯島百花 菅尾彩 西口千尋 萩原みなみ 真島綺星 松谷涼花  
小林叶和 格清美優 西村美香 柳生朱璃 石原大輝 荒谷百葉 石田ゆめみ 岡晶海 澤田優梨  
柴田遥華 西田月香 東出琉夏 新井亮太 千葉隼人 松葉匡亮 村井隆晟 守谷真聖 今西彩華  
蔭山美来 古長百合花 鶴菌珠利亚 藤崎伽音

#### 税の作文 優秀賞(全国納税貯蓄組合連合会・国税庁主催) 岡部佑有(9年)

#### 剣道部 第51回東大阪市中学校総合体育大会

男子団体の部 優勝(中田陽介 西村歩武 植田颯真 内田佑磨 植田優汰 全8年)

女子団体の部 3位(池野梨子(8年) 高居穂ノ佳(8年) 横江柚季(7年))

男子個人の部 準優勝 中田陽介(8年)、女子個人の部 準優勝 池野梨子(8年)

#### 女子バスケットボール部 第52回東大阪市民体育大会少年女子の部 Aブロック 3位